

# メッセージアウトライン

日付	2021年11月7日
単元	捕囚と帰還
テーマ	神様は一人一人に特別な使命を与えておられる
タイトル	“この時”のために
テキスト	エステル1章～10章
参照箇所	
暗唱聖句	エレミヤ29:11 or ローマ8:28

<b>導入</b>	「どうしてこのようなことが起こるんだろう？」と思ったことはないかな？私たちが毎日生活をしていると良いことも悪いことも含めて思いもよらないようなことに出会うことがあるよね。今日は、奴隷として連れて来られた外国の地で一人の女の子が王妃になるという夢のようなお話だよ！どうしてそんなことがおこったんだろうね！時代が変わり、あんなに強かったバビロニア帝国もペルシヤの国に征服されてしまった。ペルシヤの王様は今までと違って捕囚となっていた人々を元の国に帰すことにしたんだ。でもそのまま住み慣れたペルシヤに留まる人もいたんだ。エステルもその一人だよ。
<b>I</b>	<p><b>エステルはペルシヤの国の王妃に選ばれました</b></p> <p>A. ペルシヤのアハシュエロス王は王妃になる人を探していました</p> <p>B. 城で働くユダヤ人モルデカイは父母を失ったこのエステルという娘を育てていました</p> <p>C. エステルは王の心にかない多くの中から選ばれて王妃となりました</p>
<b>II</b>	<p><b>エステルはイスラエルの国を救うために立ち上がる決心をしました</b></p> <p>A. モルデカイは大臣ハマンに膝をかがめることをしませんでした</p> <p>B. ハマンは怒ってモルデカイとユダヤ人を皆殺しにする法律を作りました</p> <p>C. 王妃エステルはユダヤ人の救いのために命がけで王にお願いに行く決心をしました</p>
<b>III</b>	<p><b>神様はエステルによってユダヤ人を救ってくださいました</b></p> <p>A. アハシュエロス王はエステルを受け入れ願ひどおりハマンと食事をすることにしました</p> <p>B. エステルは食事の席で王様にハマンの悪くみを伝えユダヤ人が守られるようお願いしました</p> <p>C. 王様はユダヤ人を守るためにハマンを処刑しユダヤ人を救う法律を作ってくれました</p>
<b>結論</b>	<b>神様は一人一人に特別な使命を与えているお方です</b>
<b>適用</b>	私たちは生きていくと色々な事が起こるよね。その中には、なぜそうなったのか私たちには理由が分からないようなこともたくさんある。しかし、神さまにあってそれは全てに意味があるんだ。一つも無駄なものはないんだよ！エステルが王妃になったのには神様の深い特別な使命があったからなんだ。しかし、それは「その時」にならないと分からないものだった。キミは、今どうしてそうなったのか分からなくて悩んでいることはないかな？また、今キミが経験していることは将来神様のためにどのように用いることができるか考えてみよう！
<b>備考</b>	

